

2025年度 第2回学校関係者評価委員会議事録

専門
学校 坪内総合ビジネスカレッジ

日時 2026年2月27日(金) 11時00分~12時05分
場所 坪内学園 6階 大会議室
委員定員 14名
出席委員 8名
森脇建二、小島晴雄、持田朝子、忠政和則
口野修一、錦織澄、西村彦昭、小谷直也
欠席委員 6名
朝比奈圭、金築民男、中島建治、梶田めぐみ、藤原雅輝、宇山敦子
委員以外の出席者 園長 藤原京子、副校長 石飛美香、副校長 杉原隆史(事務局)

議題 (1) 2025年度及び2026年度の教育活動の取り組みについて
(2) 委員の皆様からの提案や業界・企業の最新情報、動向について
(3) その他
報告 (1) 2025年度教職員研修実施報告
(2) 検定合格状況及び就職状況報告
(3) その他

議事の経過及び結果

定刻となり杉原副校長の進行により開会した。まず事務局より、本年度第2回委員会から、「坪内学園附属認定こども園」を新たに評価対象に加える旨を説明し、委員の皆様からの承諾を得た。その後、森脇委員長が議長を務め、委員長挨拶、石飛副校長挨拶および藤原園長の紹介を経て、議事の審議に入った。

議事の審議経過および結果は以下の通りである。

議 事

- (1) 2025年度及び2026年度の教育活動の取り組みについて
・松江キャンパスについては石飛副校長、国際キャンパス、米子キャンパスについては杉原副校長、認定こども園については藤原園長よりそれぞれ報告を行った。

質問および意見

- ・持田委員：こども園について
① 市街地という立地から、園児の散歩には交通量を含め細心の注意を払っていると推察する。具体的にどの範囲まで活動されているのか。
② 利便性の高い立地にあり、募集に苦労されることはないと思うが園児の募集状況はどうか。
③ 事前配布資料にある保護者からの多様な意見は、現場職員にとっては厳しい内容もあるかもしれないが、経営の観点からは非常に貴重なデータであると考えます。
・藤原園長
① 主にプラバホール方面へ向かい、現地の自然に触れる活動を行っている。4~5歳児は北公園まで足を伸ばす。園外活動の際は、担任以外の職員も同行し安全確保に努めている。
② 2026年度の1次募集では12名。2次募集でさらに増える見込みだが、定員充足という目標に向け、チラシ作成や配布などの募集活動を継続している。
③ ご指摘の通り、保護者の声は貴重な意見として真摯に受け止めている。

- (2) 委員の皆様からの提案や業界・企業の最新情報、動向について

質問および意見

- ・森脇委員長
今朝の新聞報道でも出生数が70万人を割り込むとの記事があった。年々少子化が加速する厳しい環境下ではあるが、頑張っておられる。

- (3) その他

質問および意見

特になし

報 告

- (1) 2025年度教職員研修実施報告
・杉原副校長から報告を行った。

質問および意見

特になし

- (2) 検定合格状況及び就職状況報告
・松江Cは石飛副校長、国際C、米子Cは杉原副校長から報告を行った。

質問および意見

- ・森脇委員長
引き続き就職率100%を目指していただきたい。若年層に対する企業の採用ニーズは依然として高いため、就職を希望しない学生を除き、全員が希望の進路を決定できるよう支援を強化してほしい。

- (3) その他
・藤原園長より認定こども園の「学校関係者評価委員会による評価」について、2025年度実施分の評価表の説明と提出期限(3月15日)の案内がなされた。

質問および意見

- ・錦織委員
100点満点での数値評価は判断が難しい。専門学校の評価と同様に、「A・B・C・D」の4段階評価に変更してはどうか。
・藤原園長
ご提案を受け、評価方法をABCD形式へ変更することとする。
・石飛副校長
変更後のABCD評価の区分および、点数換算の考え方について補足説明を行った。
・錦織委員
次回以降は、評価項目をより大きなカテゴリで整理し、大局的な視点で評価できるような設問構成を検討していただきたい。
・森脇委員長
次回評価に向けて検討をお願いしたい。
・藤原園長
いただいたご意見を反映できるよう、改善案を検討する。

以上の通り、すべての議事を滞りなく終了し、12時5分に閉会した。

本議事の経過および結果を証するため、本議事録を作成し、議長が記名押印する。

2026年 2月 27日

学校法人坪内学園 専門
学校 坪内総合ビジネスカレッジ 学校関係者評価委員会

議 長

森脇建二 